

1 山口県の交通事故発生状況 (令和6年10月31日現在)

区 分	発 生 件 数	死 者 数	負 傷 者 数	物 損 事 故 件 数
令 和 6 年	1,728	40	2,061	30,759
令 和 5 年	1,861	26	2,220	30,365
増 減 数	-133	+14	-159	+394

* 令和6年中の物損事故件数は概数

2 交通死亡事故の特徴 ～40件40人 (令和6年10月31日現在)

年 齢 層 別 高齢死者が30人で、前年の高齢者死者数と比較すると15人増加で、全死者の75%を占めている。

道 路 形 状 別 交差点における事故で12人が亡くなられ、前年の同道路形状と比較すると6人増加しており、直路における事故でも12人が亡くなられ、前年の同道路形状と比較すると4人増加している。

事 故 類 型 別 車両単独事故で13人が亡くなられ、前年の同事故類型と比較すると3人増加しており、横断中歩行者対車両で10人が亡くなられ、前年の同事故類型と比較すると5人増加している。

ドライバー年齢層別 65歳以上の運転手による事故が19人(75歳以上は16人)で、前年の65歳以上の運転手の死者数と比較すると9人増加(75歳以上は12人増加)している。

※ドライバー事故：第1当事者が原付以上の車両の運転により起きた事故